766831-7-870

YAZAKI

空気より軽い12A・13A ガス用

家庭用

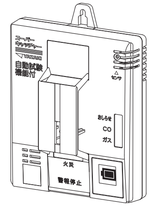
住宅用火災・ガス・CO警報器

スーパーキャッチャー

形式名 YP-790

取扱説明書 保証書付

●住宅用火災・ガス・CO警報器「スーパーキャッチャー」をお取り付けいただきありがとうございました。
●この取扱説明書は住宅用火災・ガス・CO警報器「スーパーキャッチャー」の取扱方法を説明します。
●お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をご理解した上で取り扱ってください。
●本取扱説明書は、保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
●本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問い合わせください。
●本警報器は、炎等の熱を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防ぐ装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●本警報器は、炎等の熱を感知して警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸収され、熱感知部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きません。
●本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。



保 証 書

製品名 住宅用火災・ガス・CO警報器 スーパーキャッチャー

このたびは、住宅用火災・ガス・CO警報器**スーパーキャッチャー**をお取り付けいただき、まことにありがとうございます。
この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容にて無償点検あるいは、無償取替えを行うことを、お約束するものです。

形式	家庭用 YP-790（空気より軽い12A・13Aガス用）	
製造番号		
お取付年月日	年 月 日	
保証期間	お取付年月日より	5 年 間
お客さま	〒 ご住所 お名前 電話 （ ）	
販売店	住所・店名 電話 （ ）	

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元及び製造元 発売元（本社） 〒108-8333 東京都港区三田1丁目4番28号三田国際ビル17F
製造元（天竜工場） 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111
（お問合わせ先）ガス機器事業部 〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4511

YAZAKI

（裏面もご覧ください）

警報器の機能について

■ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意喚起または警報を発します。

《お願わり》
●ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
●ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

■火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以上になると、それを感知して警報を発します。

《お願わり》
●換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が働きません。
●火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

◉ 警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠ 危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「必ず行う」事項を示しています。	「接触禁止」事項を示しています。
「火気厳禁」事項を示しています。	「分解禁止」事項を示しています。
「水ぬれ禁止」事項を示しています。	「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠ 危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

必ず行う **ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。**

火気厳禁 **マッチやライターなど、火気を使わないでください。**

禁止 **換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。**

禁止 **部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。**

CO警報器もしくは火災警報器が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う **CO警報器が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。**

必ず行う **火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。**

禁止 **部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。**

⚠ 警告

必ず行う **常に電源が入っていること（液晶通電表示の ▬ 表示）を確認してください。**
電源が入っていないと火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

必ず行う **設置後、5年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。**
正常に作動しない恐れがあります。
有効期限は、警報器本体に貼ってある有効期限シールに示しています。

必ず行う **噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。（P.7参照）**
●警報器をポリ袋などで覆う。
●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。
誤作動または不作動の原因となります。

水ぬれ禁止 **警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。**
ショート・発煙・発火の恐れがあります。

接触禁止 **ガードの中にある熱感知部には触らないでください。**
火災を感知しなくなる恐れがあります。

分解禁止 **分解や改造はしないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **衝撃を与えないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **警報器を廃棄するとき以外は、専用リチウム電池を取り外さないでください。**
火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

禁止 **ガス検知部は絶対にふさがないでください。**
ガスもれまたはCOを検知しなくなります。

禁止 **煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。**
点検ガスにフロンガスが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

⚠ 注意

必ず行う **警報器の取り外し・取り付けを行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。**
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

禁止 **取付位置を移動させないでください。**
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、ガス事業者にご相談ください。

禁止 **警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。**
警報の遅れの原因となります。

禁止 **警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。**
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。
警報器から距離を離してお使いください。

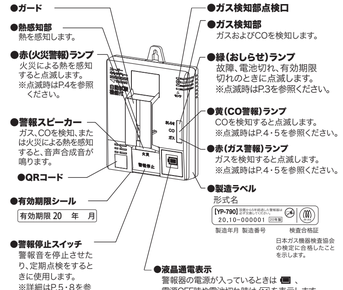
禁止 **この商品は検定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当いたしませんので、それらの用途には使用できません。**

対象ガス

⚠ 注意

●この警報器は火災（火災等による熱）、都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）および燃焼排ガス中のCOを検知します。
●都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



■ランプのつきかたについて
取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

早い点滅	1秒ごとに2回点滅	1秒 ⇔ 点滅周期
点滅	1秒ごとに1回点滅	1秒 ⇔ 点滅周期
ゆっくり点滅	5秒ごとに1回点滅	5秒 ⇔ 点滅周期
故障点滅	10秒ごとに3回点滅	10秒 ⇔ 点滅周期
電池切れ点滅	10秒ごとに1回点滅	10秒 ⇔ 点滅周期
有効期限切れ点滅		

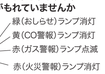
警報器のお知らせ機能について

火災による熱が発生したときは

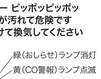
ウーウー ピーピー
火災警報器が作動しました
確認してください
（約2分後）
ウーウー ピーピー
火事です 火事です

※火災警報とCO警報が同時に成立すると、「ウーウー ピーピー 火事です 火事です」の警報音となります。

ガスがもれたときは

注意報	警報
赤(ガス警報)ランプがゆっくり点滅する	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか
	
緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプ消灯 赤(ガス警報)ランプゆっくり点滅 赤(火災警報)ランプ消灯	緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプ消灯 赤(ガス警報)ランプ点滅 赤(火災警報)ランプ消灯

ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

注意報	警報
	
緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプゆっくり点滅 赤(ガス警報)ランプ消灯 赤(火災警報)ランプ消灯 （約5分後）	緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプ点滅 赤(ガス警報)ランプ消灯 赤(火災警報)ランプ消灯
ウーウー ピッポピッポ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	ウーウー ピッポピッポ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください
緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプゆっくり点滅 赤(ガス警報)ランプ消灯 赤(火災警報)ランプ消灯	緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプ点滅 赤(ガス警報)ランプ消灯 赤(火災警報)ランプ消灯

ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

注意報	警報
緑(おしらせ)ランプ消灯 黄(CO警報)ランプゆっくり点滅または点滅 赤(ガス警報)ランプ消灯 赤(火災警報)ランプ消灯	ウーウー ピッポピッポピッ ガスがもれていませんか ⇕ 交互に鳴る ウーウー ピッポピッポピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください

故障しているときは
故障が発生すると、「故障です」が1回鳴り、緑(おしらせ)ランプが故障点滅（約10秒ごとに3回点滅）します。
その後に「ピッピッピッ」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約1時間ごとに「故障です」が鳴ります。
それ以降も同じ警報を繰り返します。

ただし、警報停止スイッチを押すと、「故障です」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。
緑(おしらせ)ランプの点滅は止まりません。
※ガス事業者までご連絡ください。
※熱やガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。
※約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、故障の音声を発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。
※約36時間を経過すると、再度故障警報音が鳴ります。

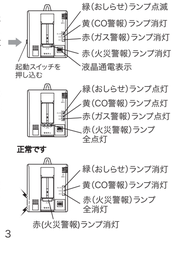
電池切れのときは
電池切れが発生すると、「電池切れです」が1回鳴り、緑(おしらせ)ランプが電池切れ点滅（10秒ごとに1回点滅）します。
その後に「ピッ」と約1分ごとに繰り返し鳴ります。
液晶通電表示は ▬ と ⊠ を1秒ごとに繰り返し点滅します。

ただし、警報停止スイッチを押すと、「電池切れです」が1回鳴り、以降警報音は停止します。
緑(おしらせ)ランプの電池切れ点滅は止まりません。
※ガス事業者までご連絡ください。
※熱やガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。
※停止中に警報停止スイッチを押すと、電池切れの音声を発しますが、停止の状態はリセットされません。

有効期限が過ぎたときは
有効期限を半年以上過ぎると、緑(おしらせ)ランプが有効期限切れ点滅（10秒ごとに1回点滅）します。鳴動音は鳴りません。
※ガス事業者までご連絡ください。

使用方法

1 起動スイッチを押し込む。
「ピッ」と鳴り、ランプが全点灯した後おしらせランプ（緑）が点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。
※液晶通電表示が ⊠ から ▬ になります。



2 電源を入れてから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。

3 「正常です」と鳴って監視状態に入ります。
〈警報器が故障している場合〉
「正常です」と鳴らずにP.3に記載している故障発生時の動作となります。
※ガス事業者までご連絡ください。

◉ 警報器をご使用になる皆さま

警報器が作動したら

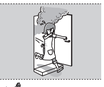
1 『ウーウー ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください』または『ウーウー ピーピー 火事です 火事です。』と鳴ったときの処置のしかた

【赤（火災警報）ランプが点滅】（火災警報）

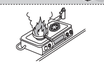
『ウーウー ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください』の警報音が約2分間隔続き、また、火災警報とCO警報が同時に成立すると、『ウーウー ピーピー 火事です 火事です』と警報音が変わります。

⚠ 危険

必ず行う **消火が不可能なときは、避難する。**



1 火元の確認をする。



2 必要な手段をとる。
119番への通報

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を閉じるときはガス事業者にご連絡ください。
警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以下になると、
警報音が鳴りやみ、赤（火災警報）ランプが消灯します。

《お願わり》
●火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、赤（ガス警報）ランプおよび黄（CO警報）ランプの点滅の有無を確認してください。
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。
●赤（ガス警報）ランプおよび黄（CO警報）ランプが点滅している場合は、P.4・5の処置を行ってください。
（火災以外の熱などで火災警報を発しているとき）
P.6の処置を行ってください。

2 赤（ガス警報）ランプがゆっくり点滅しているときの処置のしかた

【赤（ガス警報）ランプがゆっくり点滅（5秒ごとに1回点滅）】（ガス注意報）

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、赤（ガス警報）ランプは消灯します。

2 原因を確認する。
ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。（P.6参照）

3 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

【赤（ガス警報）ランプが点滅（1秒ごとに1回点滅）】（ガス警報）

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

火気厳禁 **マッチやライターなど、火気を使わない。**

禁止 **換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。**

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤（ガス警報）ランプ消灯】

4 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

4 黄（CO警報）ランプがゆっくり点滅しているときの処置のしかた

【黄（CO警報）ランプがゆっくり点滅（5秒ごとに1回点滅）】（CO注意報）

1 ドアや窓を開けて換気する。
しばらく換気を続けると、黄（CO警報）ランプは消灯します。

2 原因を確認する。
CO濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。（P.6参照）
※黄（CO警報）ランプのゆっくり点滅が約5分間継続すると、「ウーウー ピッポピッポ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

5 『ウーウー ピッポピッポ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください。』と鳴ったときの処置のしかた

【黄（CO警報）ランプがゆっくり点滅（5秒ごとに1回点滅）または点滅（1秒ごとに1回点滅）】（CO警報）

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

火気厳禁 **マッチやライターなど、火気を使わない。**

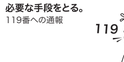
禁止 **換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。**

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤（ガス警報）ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

6 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウー ピッポピッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた

【赤（ガス警報）ランプが点滅（1秒ごとに1回点滅）、黄（CO警報）ランプがゆっくり点滅（5秒ごとに1回点滅）または点滅（1秒ごとに1回点滅）】（ガス警報とCO警報の同時警報）

⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

火気厳禁 **マッチやライターなど、火気を使わない。**

禁止 **換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。**

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

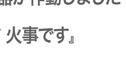
3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。
【赤（ガス警報）ランプ消灯】

4 ガスもれの原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

7 部屋の外から警報音に気づいたときは

⚠ 危険

禁止 **警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。**
爆発やCO中毒の恐れがあります。



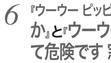
1 部屋に入らない。
室外からドアや窓を開けるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときはガス事業者にご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

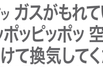
4 部屋に入り、赤（ガス警報）ランプ・黄（CO警報）ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴り止まないときは
最寄りのガス事業者へ連絡する。

おねがい
●たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。（有償）
●ガス機器以外の燃焼機器（石油ファンヒーター、石油ストーブなど）が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

8 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れで、赤（ガス警報）ランプや黄（CO警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉
警報停止スイッチを押すと、
●ガス警報の警報音は約5分間止めることができます。
●CO警報は、黄（CO警報）ランプがゆっくり点滅（5秒ごとに1回点滅）しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ約5分間止めることができます。
※警報器周囲の空気の汚れが十分換気できていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。
2 警報器周囲の空気の汚れがなくなると、ランプの点滅や警報音が止まる。

〈火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは〉
警報停止スイッチを押すと、火災警報音を約5分間止めることができます。
※警報器周囲の熱が規定温度（約65℃）以下になっていない場合は、約5分後に再び火災警報音を発します。約5分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。
2 警報器周囲の温度が規定温度（約65℃）以下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。
●長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分（シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス［エアコンの冷媒ガスなど］）の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
●建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・CO警報〉
●スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていません。
●タバコの煙を警報器に吹きかけていません。
●芳香剤・香油（アロマオイル）などの濃い ガスが警報器にかかっていません。
●線香の煙が警報器にかかっていません。
●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していません。
●アルコール類やヘん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度にならないません。
●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していません。
●焼き魚の煙などが警報器にかかっていません。
●みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていません。
●可燃性のガスなどを使用していません。
●換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していません。
●ガスコンロの着火ミスがありません。
●自動車の排気ガスが室内にもらっていません。
●炭火や練炭を使用していません。
●換気扇を回さずに大鍋（業務用）で湯を沸かしていません。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。
●警報器を設置した状態で十分な換気をせずに内装工事（リフォーム含）を行っていません。接着剤などからホンセイに影響を与え、誤報を誘発します。
また、内装工事（リフォーム含）を終えた段階でも、十分な換気が行われなかった場合、同様の事象が発生します。

〈火災警報〉
●調理中の熱がこもっていません。
●エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっていません。
●熱感知部が故障している可能性があります。

おねがい
ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤（ガス警報）ランプ・黄（CO警報）ランプが点滅したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので、ドアや窓を開けし、しばらく換気を続けてください。
その際、警報器の電池を抜かないでください。

ランプ表示・警報音出力の事象一覧表

電源表示	ランプ 緑(おしらせ)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤(火災警報)	音声内容	事象	対応方法
▬	○	○	○	○	なし	通常動作(監視中)	−
▬	○	○	△	○	なし	ガス注意報	P.4参照
▬	○	○	●	○	ガス警報音声 「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報	P.4・5参照
▬	○	△	○	○	なし	CO注意報	P.4参照
▬	○	△または○	○	○	CO警報音声 「ウーウー ピッポピッポピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報	P.4・5参照
▬	○	△	△	○	なし	ガス注意報とCO注意報	P.4参照
▬	○	△	●	○	ガス警報音声 「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報とCO注意報	P.4・5参照
▬	○	△または○	△	○	CO警報音声 「ウーウー ピッポピッポピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報とガス注意報	P.4・5参照
▬	○	△または○	●	○	ガス警報音声 「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」、CO警報音声 「ウーウー ピッポピッポピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」の交互音声	ガス警報とCO警報	P.4・5参照
▬	3回/1秒点滅	○	○	○	故障警報音声 「故障です」(1時間ごと) ※警報停止スイッチを押した場合「ピッピッピッ」(1分ごと)	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断したとき状態）	ガス事業者にご連絡してください
▬	1回/1秒点滅	○	○	○	なし	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	ガス事業者にご連絡してください
⊠	1回/1秒点滅	○	○	○	電池切れ音声 「電池切れです」 ※警報停止スイッチを押した場合「ピッ」(1分ごと)	電池切れ	ガス事業者にご連絡してください
▬	○	○	○	●	火災警報音声 「ウーウー ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください」 2分後の音声 「ウーウー ピーピー 火事です 火事です」	火災警報	P.4参照
▬	○	○	△	●		火災警報とガス注意報	
▬	○	○	○	●		火災警報とガス警報	
▬	○	○	○	●		火災警報とCO注意報	
▬	○	△	○	●		火災警報とCO警報	
▬	○	△	△	●		火災警報とガス注意報とCO注意報	
▬	○	△	●	●		火災警報とガス警報とCO注意報	
▬	○	△または○	○	●		火災警報とガス警報とCO警報	
▬	○	△または○	△	●	火災警報音声 「ウーウー ピーピー 火事です 火事です」	火災警報とガス注意報とCO警報	
▬	○	△または○	●	●		火災警報とガス警報とCO警報	

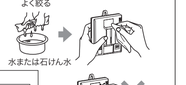
○：点滅（1秒ごとに1回）、△：ゆっくり点滅（5秒ごとに1回）、●：点灯、○：消灯

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、ガス事業者にご連絡ください。

お手入れのしかた

1 警報器を取り外す。(P.7参照)

2 警報器および取り付部付近の壁面の汚れをふき取る。
布に水またはぬるま湯を浸し、よく絞ってからふき取ってください。



おねがい

- ●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- ●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
  アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

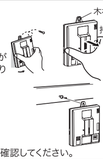
3 警報器を取り付ける。(P.7参照)

4 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。(P.8参照)

警報器の取り外し・取り付けかた

■木ねじの場合

〈取り外しかた〉
木ねじをゆるめて警報器を取り外す。
〈注意〉
強く引っ張ると取り付けている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。



〈取り付けかた〉

1 警報器をネジに引っ掛ける。

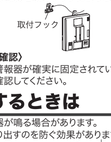
2 木ねじを締め付けて固定する。

〈確認〉
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

■取り付けフックの場合

〈取り外しかた〉
本体を持ち上げて取り外す。

〈取り付けかた〉
警報器を取付フックに引っ掛ける。



〈確認〉
警報器が確実に固定されていることを確認してください。

噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠ 警告

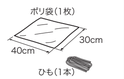
噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋から取り出してください。
警報器が作動しません。

⚠ 注意

警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

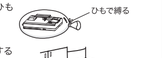
1. 警報器をポリ袋の中に入れる
警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

【準備するもの】
- **●ポリ袋(30cm×40cm・1枚)**
  ポリプロピレン製(または>PP<表示)
  ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- **●ひも(1本)**



【処置のしかた】
①警報器を取り外してください。(P.7参照)

②警報器をポリ袋の中に入れ、袋の口をひもで縛ってください。



③ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

2. 噴霧式殺虫剤を噴霧する
以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。
- **●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。**
  必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- **●噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。**
  警報器の真下は避けてください。
- **●ポリ袋に穴があいたとき。**
- **●警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。**
  ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- **●経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。**

3. ポリ袋から取り出す
噴霧が終わったら、ポリ袋から取り出し、警報器を元の位置に取り付けてください。

点検方法について

日常の点検

日常、警報器の液晶通電表示が ( ) になっていることと、緑(おしらせ)ランプが消灯していることを確認してください。
※液晶通電表示が (✕) であったり、緑(おしらせ)ランプが点滅している場合は、ガス事業者に連絡してください。
(P.8「故障かな?と思ったら」を参照ください。)

警報ランプと警報音の確認

⚠ 警告

- **●点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。**
  警報器の破損や火災の原因になります。
- **●点検するときは、必ず安定した台に乗ってください。**
  転倒してけがをする恐れがあります。

①警報停止スイッチを約3秒間押すと「ピッ」音の後「ピッピッ」と開始音が鳴り、緑(おしらせ)ランプが早い点滅を開始します。
②警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作します。

動作順	音声内容	ランプ 緑(おしらせ)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤(火災警報)
1	ウーウー ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください	早い点滅	—	—	点滅
2	ウーウー ピーピー 火事です 火事です	早い点滅	—	—	点滅
3	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	早い点滅	—	点滅	—
4	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	早い点滅	点滅	—	—

③「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(緑(おしらせ)ランプ消灯)に戻ります。
※音声警報中に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。

〈警報停止スイッチの短押し点検と鳴動原因表示機能について〉
警報器の電源を入れてから6分未満でも、警報停止スイッチを約1秒間押して「ピッ」音の後、手を離すと上記確認ができます。
電源を入れてから4分以降だと、警報器が正常な場合は全ランプ点灯後に「正常です」のみが鳴ります。
過去約10日以内に警報が作動した場合、全ランプ点灯後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです)

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
液晶通電表示が (✕) になっている。(正常動作時は ( ))	起動スイッチの位置を確認してください。	起動スイッチを押し込んでください。(P.3「使用方法」参照) 液晶通電表示が (✕) のまま の場合、ガス事業者に連絡してください。
緑(おしらせ)ランプが点滅している。	10秒ごとに3回点滅 警報器の故障を知らせています。	ガス事業者に連絡してください。
	10秒ごとに1回点滅 警報器の電池切れを知らせています。	ガス事業者に連絡してください。
	10秒ごとに2回点滅 警報器の有効期限切れを知らせています。警報器の有効期限ラベルに記載の有効期間が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、ガス事業者に連絡してください。
火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.5・6参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合はガス事業者へ連絡してください。
	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有償)
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
警報停止スイッチを押したときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯、点滅する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.8「点検方法について」参照)

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいたうえで警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし、保証書記載の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
■この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
■保証書に取付年月日および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
■保証書は大切に保管してください。
■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または、最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社までご連絡ください。
■警報器の有効期限を過ぎたときは、ガス事業者までご連絡ください。
■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
■引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、ガス事業者までご連絡ください。

廃棄について

⚠ 警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。
リチウム電池の廃棄方法を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあります。また、ケガをしたり、火災の原因になります。
〈お買い上げいただいた警報器の廃棄〉
お客さまにて、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがって廃棄してください。
※必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。
〈警報器と専用リチウム電池の分別のしかた〉
本体裏面の電池カバーを外し、専用リチウム電池を持ち上げた後、コネクタを引き抜いて専用リチウム電池を取り出します。

①シールを剥がす　②電池カバーを横に引いて外す　③専用リチウム電池を取り出し、コネクタを引き抜く。

仕様

項目		仕様
火災警報機能	種別	定温式住宅用防災警報器
	型式番号	住警第2020−7号
	検知原理	半導体(サーミスタ使用)
	公称作動温度	65℃
	住宅用防災警報器	検定合格品
ガス警報機能・CO警報機能	対象ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO
	都市ガス ガス注意報 検知方式	半導体式
	都市ガス ガス注意報 作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
	都市ガス ガス注意報 表示・発報方法	赤(ガス警報)ランプゆっくり点滅 (5秒ごとに1回点滅)
	都市ガス ガス注意報 発報音無し	
	都市ガス ガス警報 作動条件	*爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報
	都市ガス ガス警報 表示・発報方法	赤(ガス警報)ランプ点滅 (1秒ごとに1回点滅)
	都市ガス ガス警報 音声合成警報音	
	燃焼排ガス中のCO CO注意報 検知方式	電気化学式
	燃焼排ガス中のCO CO注意報 作動条件	300ppmのCOに対し10分以内に注意報
	燃焼排ガス中のCO CO注意報 表示・発報方法	黄(CO警報)ランプゆっくり点滅 (5秒ごとに1回点滅)
	燃焼排ガス中のCO CO注意報 音声合成警報音	黄(CO警報)ランプゆっくり点滅 が約5分継続すると音声合成警報音
	燃焼排ガス中のCO CO警報 作動条件	550ppmのCOに対し5分以内に警報
	燃焼排ガス中のCO CO警報 表示・発報方法	黄(CO警報)ランプ点滅 (1秒ごとに1回点滅)
	燃焼排ガス中のCO CO警報 音声合成警報音	音声合成警報音
	一般財団法人 日本ガス機器検査協会(JIA) 都市ガス用電池式ガス警報器検査規程 認証合格品	
共通仕様	警報音量	70dB(A)/m以上
	電源	DC3V(専用リチウム電池)、CR17450E-R-2-CN
	付属機能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲	0℃〜+40℃(結露しないこと)
	寸法・質量	幅85×高さ100×奥行き33mm(突起部を除く)、約140g
	付属品	取扱説明書(保証書付)(本書)×1、木ネジ(φ3.1×16mm)×1 アタッチメント×1、引きひもアッシー×1

※爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

◉施工される方へ

施工される方へのお願い

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。

お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客さまへの危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、下記の表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

施工される方へのお願い

- ●取付終了後に「P.11の自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「P.12の作動点検」を行ってください。
  なお、作動不良の場合は交換してください。
- ●必要に応じて、「P.9の警報器の説明」「P.10のお客さまへの周知事項」についてお客さまに説明を行い、ご理解を得てください。
- ●警報器を個包装から出されたた状態で持ち運びまたは保管しないでください。

⚠ 注意
警報器は、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障や誤作動の原因になります。

お客さまへの説明について

警報器の説明

①警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。

②取扱説明書を必ず読んでいただくこと、保管していただくことのお願い。

③取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。

1. 火災警報の内容(赤(火災警報)ランプ点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
2. ガス警報の内容(赤(ガス警報)ランプ点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
3. CO 警報の内容(黄(CO 警報)ランプ点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
4. ガス警報、CO 警報の同時警報の内容(赤(ガス警報)ランプと黄(CO 警報)ランプの点滅、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
5. 部屋の外にいて、ガス警報、CO 警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
6. 電池切れ警報、故障警報の内容と処置の説明。
7. 誤報が発生する原因と処置の説明。
8. スイッチ操作の説明。
   ●警報音停止
   ●点検

お客さまへの周知事項

①保証期間5年。
②警報器の有効期限のお知らせ。
(本体に貼付の有効期限シールに表示)
③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
④警報器の移設禁止。
(移設依頼時の連絡先)
⑤警報器の分解禁止。
⑥引越時の処置。
⑦故障・異常時の連絡先。

取り付け前の確認

警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用であり、本体に異常のないことを確認してください。

梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

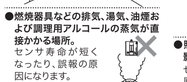
本体 …1個	アタッチメント…1個 (ピン3本付)
取扱説明書 (保証書付) …1枚	
木ねじ 長さ16mm…1本	引きひもアッシー…1個

取付位置の確認

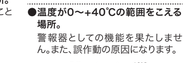
設置場所の選定については、お客さまとよく相談して決めてください。

⚠ 注意
正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

〈正しい取り場所について〉
- ●ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ●ガスやCOが滞留しやすい位置で、警報器の各種ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ●ガス、COを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が19〜30cm以内の位置に取り付けてください。
- ●たれ壁やはりから40cm以上離してください。



- ●換気扇など、空気の吹出口から1.5m以上離してください。



- ●天井面が40cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。

取付例

※警報器の取り付けや取付位置の移動は、ガス事業者におまかせください。

〈取り付けてはいけない場所について〉
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けないでください。

- ●レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
  アルコール等で警報することがあります。
- ●30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。

- ●たれ壁40cm以上で区切られている場所。
- ●換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。
- ●すき間風の入る場所。
- ●エアコンなどの吹出口に近い場所。
  警報が遅れたり、検知できないことがあります。

- ●燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。
  センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

- ●カーテンウォールなどで仕切られた場所。
  警報が遅れます。

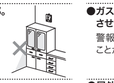
- ●振動、衝撃の激しい場所。

- ●浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。
  電気的故障の原因になります。

- ●温度が0〜+40℃の範囲をこえる場所。
  警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。

- ●照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。
  センサの故障の原因になります。

- ●食器棚などの上部。
  警報が遅れます。



- ●ガス検知口に他の機器などを密着させないでください。
  警報が遅れることがあります。

- ●業務用・工業用。
  家庭用です。業務用・工業用ではありません。
- ●屋外。
  屋外用ではありません。

取り付けかた

有効期限の記入

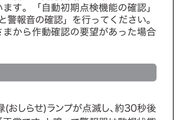
この警報器の有効期限は、取り付け後5年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限シール」に、有効期限の年月を記入してください。

警報器本体の取り付け

⚠ 注意
- **●取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い台板には取り付けないでください。**
- **●警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。**
  センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。
- **●本体内にある熱感知部に触れないように作業してください。**
  センサの破壊など、正常に作動しない恐れがあります。

■木ねじで取り付ける場合

①木ねじ(16mm)を途中までねじ込み、仮止めする。
※コンクリート壁・石膏ボード壁の場合は、市販のカールプラグを打ち込んだ木ねじを使用してください。
②仮止めした木ねじに、本体のフック部を引っかける。
③木ねじを締め付け、本体を固定する。



■アタッチメントで取り付ける場合(石膏ボード専用)

⚠ 注意
- **●ビンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。**
- **●取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。**
- **●万一、ビンやふたを紛失した場合は、取付位置をずらしビンを付け直してください。**

①アタッチメント裏面の両面テープの剥離紙を剥がしてください。
②壁面にアタッチメントを押し当て、アタッチメントの石ころボード用ピン❶❷を差し込んでください。その際、市販の石ころボード用のピン差し込み工具またはドライバーの柄の堅いところなどで石ころボード用ピンの頭を押しつけて根元まで差し込んでください。
③警報器をアタッチメントのフック部に引っ掛けてください。警報器が傾かない位置で、アタッチメントの左右の石ころボード用ピン❷を差し込み固定してください。

引きひもの取り付け

警報器に引きひもを取付け、警報停止スイッチを操作することができます。

■取り付けかた

①本体裏面の封印シールを剥がす。

②引きひもアッシーを本体の取付部へカチッと音がするまでしっかりと差し込む。

③引っ張って抜けないことを確認する。

取付け後の点検(お客さま立会いのもと実施)

この警報器は、通電開始後自動でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。「自動初期点検機能の確認」を行ってください。続けて「警報ランプと警報音の確認」を行ってください。通常「作動点検」は不要ですが、お客さまから作動確認の要望があった場合は、「作動点検」を行ってください。

自動初期点検機能の確認

起動スイッチを押し込む。
液晶通電表示が (✕) から ( ) に変わり、緑(おしらせ)ランプが点滅し、約30秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って警報器は監視状態に入ります。
万一、異常があれば、「故障です」と鳴り、以降1分ごとに「ピッピッピッ」と繰り返し鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
※赤(ガス警報)ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。

作動点検

ガス・CO警報機能の点検

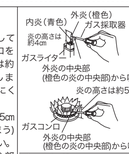
おねがい
この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後3分30秒間(起動スイッチを押し込んでから4分間)に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後の緑(おしらせ)ランプが点滅している間(約30秒間)は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発しないため、作動点検を行わないでください。
上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報停止スイッチを約6秒間押し、「ピッピッピッ」音が鳴ってから手を離し、再度自動初期点検を行ってください。
通電開始後の緑(おしらせ)ランプが点滅している間や消灯に変わる際に火災警報機能の点検を行った場合、約30秒経過しても「正常です」が鳴りません。

〈準備するもの〉
- ●点検ガス採取器(別売品)
- ●ガスライター、ガスコンロ

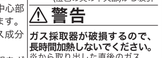
⚠ 注意
アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。
センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。

〈ガス採取方法〉

1. 周囲に引火物などが無いことを確認してからガスライター、またはガスコンロを点火し、炎の高さをガスライターでは約4cm、ガスコンロでは約5cmに調整します。炎が小さいと点検ガスを採取しにくくなります。
※ ガスコンロの種類により、炎の高さを5cmに調整できない(5cm未満になってしまう)場合はコンロの火力を最大にしてください。
2. ガス採取器を圧縮し、先端を炎の中心部(橙色の炎の中心部)へ持っていきます。
3. 約2秒程度かけて、炎の中からガス成分(点検ガス)をゆっくり吸引します。
終わりましたら速やかにガス採取器をガスライターまたはガスコンロの炎から離して、炎を消してください。
4. ガス採取管の先端は熱くなっているため、そのまま警報器に押し当てると警報器のケースを溶かしたり傷がついたりします。ガスを採取後、必ず30秒以上冷ましてください。(熱いまま警報器に当てないでください。警報器の故障・変形の原因となります。)

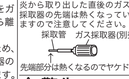


⚠ 警告
ガス採取器が破損するので、長時間加熱しないでください。
炎から取り出した直後のガス採取器の先端は熱くなっていますので注意してください。



⚠ 警告
採取したガス は作動点検以外には使用しないでください。

〈点検〉
①ガスを採取します。
②起動スイッチの突起を押し込みます(警報器使用中の場合は警報停止スイッチを約6秒以上押して「ピッピッピッ」音鳴動後にスイッチを離してください)。緑(おしらせ)ランプが点滅します。
③緑(おしらせ)ランプの点滅が終了し、「正常です」と鳴った後、ガス採取器の先端を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスを約1秒程度で注入します。
④ガスを注入してから60秒以内にガス警報、CO警報することを確認してください。
- 警報はガスとCOの複合警報となりますので赤(ガス警報)ランプ及び黄(CO警報)ランプが点滅し、ガス警報音「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」とCO警報音「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」を交互に警報します。
- ガスの濃度が低いと警報しない場合がありますので、その時は再度ガスを採取し、作動点検を行ってください。
  4分以上経過してしまった場合は再度②の操作を行い、もう一度作動点検を行ってください。



⑤ガス濃度が規定値以下になると赤(ガス警報)ランプ及び黄(CO警報)ランプは消灯します。

火災警報機能の点検

①ヘアドライヤーの吹出口を、警報器の熱感知部に垂直に当てる。
②ヘアドライヤーの電源スイッチを入れ、温風を吹きかける。

⚠ 注意
ヘアドライヤーを離した直後の警報器は熱くなっています。絶対に触らないでください。
やけどをする恐れがあります。
ライターなどの直火による加熱試験は、行わないでください。
破損の原因となります。

③赤(火災警報)ランプが点滅し、火災警報音「ウーウー ピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください」が鳴ります。

④熱感知部周囲の温度が規定温度(約65℃)以下になると、赤(火災警報)ランプが消灯します。

矢崎エナジーシステム株式会社

お客さまご相談窓口

ガス機器事業部		053(925)4511
[北海道]	札幌	011(852)2914
[東北]	仙台	022(284)9114
[関東]	東京	03(5782)2702
	埼玉	048(654)2071
[中部]	名古屋	052(769)1532
	静岡	054(283)1151
[関西]	大阪	06(6458)8185
[中国]	広島	082(568)7802
[四国]	高松	087(833)3335
[九州]	福岡	092(411)4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、または最寄りのお客さまご相談窓口に相談ください。
なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げております。
URL:http://www.yazaki-group.com
※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

保証規定

1. 表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。
   ① 本製品に異常が認められない場合。
   ② 取扱説明書に基づかないで使用し、故障または損傷した場合。
   ③ 火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による破壊または損傷。
   ④ 取付位置が浴室・屋外・高温多湿など著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。
   ⑤ お取り付け後、分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
   ⑥ お取り付け後の取付場所の移動、落下などによる故障または損傷。
   ⑦ 水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
   ⑧ 本保証書のご提示がない場合。
   ⑨ 本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本書は日本国内のみにおいて有効です。
4. なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

お願い
- ●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ●本警報器の保証期間はお取付年月日より5年間です。
  警報器は保安機器であり、お取り付け後5年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

お取替え予定日　年　月　日